



世界最高峰のエキストリーマーの ステフ・デイヴィスさん

7月に東京都現代美術館内『content』で行われたトークショー。ヨガを幅広く捉えたヨガジャヤ主宰のバトリックさんの企画。その意志に共感し、またステフの言葉は真っ直ぐで強いものでした。「クライミングは、生きていることを強く実感できるから大好き。そして岩に登りながら、深く自分と向き合うことができるの。大きな岩に張りついていると、自然の大きな愛と一体感を感じるけどそういうことをヨガをして感じられる人達はすごいって思ってる。岩に登ることや、空を飛ぶことを、危険なことと思う人もいるけどきちんと用意して自分の心に確認して問題なければ、私には安全なこと。クライマーにとっての恐れである『落ちること』を意識的に行うことで恐れをなくすことにもつながるわ」。極限の世界に挑み続けるステフの体はとても細く、しなやか。意識はシンプルで、明確で、標高の高い山と会話しているようでした。

Profile



ステフ・デイヴィス Steph Davis

ロッククライマー、ベースジャンパー、そしてウィングスーツ・フライヤーであり、ヨギーニ。ロープを使わずに世界で最も厳しい山頂を一人で登るソロのフリークライミングにおいてさまざまな記録を残している。著書に『High Infatuation: A Climber's Guide to Love and Gravity』があり、彼女の人生哲学が書かれ、多くの人を魅了している。www.highinfatuation.com
写真上：Scotty Burns 写真右下：Photo: Brian Kimball